生徒の実態

- 優しく、友だちに積極的に関わる ことができる生徒が多い。
- 生徒同士がかかわり合う力も身
- ついてきている
- 委員の仕事や係活動に積極的 に協力する生徒が多い
- 指示されたことには意欲的に取り組むが、それ以上の活動につ いて思考し、自主的に取り組む カは弱い
- 自分の考えを述べたり、論理的 に表現することなどは、あまり得

地域の実能

- 街中であり、大人も子どもも 様々な転出入がある。
- 全体として学校に協力的な 地域である。
- 校区に5つの小学校があり、 中1年での仲間づくりが重要 である

各教科

道徳

特別活動

生徒会活動

准路学習

部活動

学校行事

地域行事

学校教育目標 仲間と共に学び、自ら考え行動する生徒の育成

総合的な学習の時間の目標

100年先も住みたい愛宕をイメージし、自分と地域との 関わりについて、探究的な活動を通じて、そこにある問題 を主体的に見出し、仲間と共に協力して解決する生徒

総合的な学習の時間における目指す生徒像

- 〇自ら課題を見つけ、仲間と協同して、よりよく問題を解決しようとする 生徒
- ○実生活とからめ、職業観や自己の将来に関する学習を通じて、自分 の生き方を考える生徒。
- 〇地域の担い手として、自助・共助を意識し、防災の視点から地域の 減災に取り組む生徒
- 〇人との豊かなコミュニケーションのできる生徒

高知市教育大綱

- 〇基本目標 ・夢・希望・志をもって社会を
- 生き抜く人づくり 学力の定着
- 道徳教育の推進
- 〇重点目標
- ・ 心と体の成長 •授業改革
- 准路保障
- •組織的学校
- 家庭、地域連携

保護者・地域の願い

- 基礎学力を身につけ、たくまし
- く生きてほしい。 思いやりがあり、地域や人の役 に立つ人になってほしい。
- 地域に愛着を持つ生徒に育って ほしい。

育成すべき資質・能力 課題発見力 思考力 学習方法に ·判断力 関すること ・表現力 •情報活用能力 ・継続力 自分自身に 行動力

関すること

他者や社会に ·協働力 関すること ·人間力

学習内容 地域の担い手として、 地震や津波に対する 防 意識の向上を図るとと もに、減災の視点に 災 立った取組について 考える。

膱 業 将

来

自分づくりへの挑戦

職業や自己の将来に 向けて職場体験学習 や進路学習を通じて 自己の将来の生き方 について考える。

考え行動する 学ぶ

学年 1年 2年 3年 地域の減災を意識した 地震や災害発生後の 学 我が家の防災について学ぶ 防災について考える 地域の復興について考える 習

自律力

活 身近な職業について調べる 様々な職業の役割や意義につい 【(好きなこと)と(好きな要素)の 動 違いについて見つける】

自分の将来図をデザインする 理解し自己の生き方を考える

評価の観点		1年生	2年生	3年牛
課題設定の能力		・追究分野について疑問や意見をもち、 課題を明確にして追究を進めようとすることができる。	・具体的な事象を比較したり、関連づけたりして、そこのある矛盾や隔たりを認識し、自ら課題設定することができる。	・日頃から解決すべきと感じていた問題 を地域の人やその道の専門家、仲間 との意見交流を通して、改めて見つめ 直し、課題を設定することができる。
	情報 収集	・設定した課題を解決するために目的 を明確にして情報を収集・選択するこ とができる。	・課題追究を進めていくために、視点や 立場を変えて情報を収集し、蓄積する ことができる。	・課題に関して各教科で身に付けた知識や技能を発揮し、自分なりに納得できる答えを求めて情報収集できる。
問題解決の能力ものの考え方を	整理 · 分析	・収集した情報をわかりやすく比較した り分類したりしながら整理・分析する ことができる。	・収集した情報から、課題を解決するための情報を選択し、課題と関連づけながら整理・分析することができる。	・複数の情報を整理し、関連づけながら 多面的、多角的に整理・分析すること ができる。
身に付けること	まとめ ・ 表現	・追究活動を行う上で得た情報をもとに、 自分の考えを明確にし、相手や目的、 意図に応じて表現することができる。	・収集した情報をもとに、まとめたり、表現したりしながら、自己の考えや新たな課題を自覚することができる。	・自己の問題意識や、考え方、意見を表現することで、自己の考えを再構築することができる。
探究への主体的、創 造的、協同的な態度		・追究活動で得た情報をもとに、自分の 考えを明確にし、相手や目的、意図に 応じて、論理的に表現しようとすること ができる。	・追究で得た情報をもとに、仲間と意見を交流し、他者の考えを受け入れながら、問題解決や探究活動を協同して 行おうとすることができる。	・自らの行為について責任を持って意思 決定し、課題の解決に向けて社会活動 に参画しようとすることができる。
自己の生き方		・各分野の追究を通して、自分の興味・ 関心を広げ、自分にとって学ぶことの 意味や価値を考えることができる。	・人や社会、自然との関わりにおいて、 自らの生活や行動について考えること ができる。	・追究を進める中で自分自身を見つめ、 自らの生き方について考え、将来に夢 や希望を持つことができる。

地域との連携

「愛宕応援団」をはじめとする地域との連携を図り、地域の教育資源を有 効に活用することにより、広がりと深まりのある活動にする。

小学校との連携

校区の小学校における総合的な学習の時間の活動内容との関連を図り、 発達段階に応じた活動計画の作成に生かす。